

閉じる

印刷

---

日付: 2007-01-03 タイトル: 研究セミナー内容

第1研究委員会 障害者の自立支援 ◆「お仕着せでは駄目だよ、自立支援！」自立支援法が施行されています。今後のサービスに様々な意見が寄せられています。元来、自立生活支援は時代・地域の福祉サービスの制約を受けてきました。制約の元でも、お仕着せではなく、少しでもご本人らしさを日々の暮らしに生かすことこそ、支援者の役割ではないでしょうか。支援を受けながら、その人らしく暮らすことが自立支援であるとするならば、ご本人に寄り添い、ご本人の言葉、思いをいかに聴きだせるか、ご本人の自己表現をどう支えるかということが支援者に問われます。支援者自身による「お仕着せ」を防ぐためには、支援者には、ご本人に合うと考えられる暮らし方やそれを支える福祉サービスを、複数提示できる多様な視点が必要です。そして、ご本人の「快」表現を繰り返し確認し、問い直すことが必要と考えます。さらには、支援者間でどのように共有し、継続できるかと言うことが、支援の重要課題となるでしょう。そのことを、スウェーデンでの体験を踏まえての大滝昌之氏の講演と、身体障害者自立体験ホームや知的障害者ケアホームの支援者と当事者の報告をお聞きしつつ、確認します。これは、必ずしも、自立支援法とは重なりません。むしろ、現場発の自立支援論として提起します。以上の視点から第1研究委員会は、従来の研究セミナーに引き続き、「自立」と「自立支援」について検討するために、当事者の方のお話も聴きながら、事例検討、討議を行います。＜スケジュール＞ 9:30 第1研究委員会の趣旨説明 9:45 講演 大滝 昌之氏(スウェーデン社会福祉研究所・音楽療法士) 12:00 昼食休憩 13:00 パネルディスカッション A・身体障害自立体験社会参加促進・世田谷「なかまっち」(東京)職員と当事者 B・翔の会 ケアホーム「ミルク」(神奈川)職員と当事者(予定) 15:30 終了

---

Copyright © NPO法人全国障害者生活支援研究会 All Right Reserved

閉じる

印刷